会報 49号

NPO法人 お互いさまネットワーク

２０２３年（令和５年）１１月２５日発行
発行責任者　理事長　恩田初男
群馬県館林市北成島町1829-5
ｔｅｌ．０２７６（７０）１３２６
ｆａｘ．０２７６（７０）１３２７
http://otagaisamaegao.net/

== 理 念 ==

人とのつながりを大切にした福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

== 指 針 ==

① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民･関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。

働きやすい
職場づくりに
取り組む
事業所認定

ぐんま介護人材育成宣言

～～～～　令和5年度取り組みの重点　～～～～

① 改善提案から「より良い法人・事業所」へ改善項目の実施
② 事業継続計画の策定と実施への取り組み
③ 人材確保戦略の確実な実施により新規職員獲得
④ 利用者獲得により増収をはかり職員賃金改善する

買い物ツアー
毎月最終水曜日
参加者募集中！

「少子化について考える」講演会

次世代を担う子どもを地域みんなで育てる社会を－

少子化について考える

大宮先生による講演。当日は介護事業所、行政職員など約40人が講聴した。

　五年後ビジョンのひとつ「年一回の講演会を行い福祉医療・住民関係者と連携を深める」について九月二八日、文化会館小ホールにて講演会を行った。テーマは少子化。講師に高崎経済大学名誉教授の大宮登先生、パネリストに市民活動代表ルナ裕美氏、公務員で新婚の鈴木庸平氏、介護職で結婚希望の奥田涼斗氏らを招き、先生による基調講演の後にパネルディスカッションを行った。

　講演では人口減少社会への進展、家族関係の変化、地域コミュニティの希薄化等、少子化を取り巻く現状とこれからの地域社会の在り方を紹介した。ディスカッションでは立場の異なる者同士、それぞれの視点から結婚に対する期待と不安を議論し、より現実的な意見を交わした。

　当初結婚予定としていた鈴木氏が先日結婚されたことを会場で明かすという嬉しいカミングアウトもあった。今後の期待が高まる。

館林NPOまつり開催

　十月九日、館林市NPO法人連絡協議会による「NPOまつり」が市役所ホールで開催された。コロナ禍で中止が続いたため数年ぶりの開催となった。当法人からは認知症簡易テストとパネル展示を行った。市内のNPO法人と連携しながら当法人の活動を紹介した。

当日は恩田理事長と管理者の陶山氏が担当した。

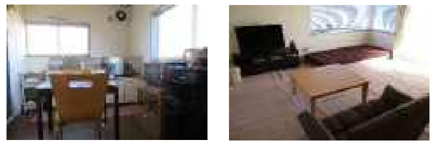
赤い羽根共同募金のお願い

暴力被害者の一時避難所

　当法人では、暴力等から身を守るため、アパートの一室を使用して一時避難所を設置しています。二年間で十六名の方が利用され、事業の必要性を実感しました。主に警察署からの依頼が多く、すぐに利用できるように普段は部屋を空けています。

　今回この活動を続けるべく、赤い羽根共同募金より寄付を募ることに致しました。この事業は寄付を受けるだけでなく、当法人も募金活動を行います。

　下記QRコードより詳細の確認と赤い羽根共同募金へ寄付ができます。皆様のご協力をお願い致します。



介護保険活動

ケアプラン介護相談の喜楽11月コラム　　ケアマネージャー陶山

　今回は地域密着デイの喜楽・多機能ケアの喜楽についてご紹介します。前回紹介した施設は認知症の診断がある方のみが利用できましたが、今回は介護度を持ち、館林に住んでいれば利用できる事業所です。

①「地域密着デイの喜楽」は定員15名の小さなデイサービスです。大きい事業所だと定員30名程になり個別の対応が難しくなることがありますが、ここでは少人数で個々に応じたサービスを提供できるのが特徴です。生活リハビリと言って昼食の準備や散歩など、自宅で行っていることを中心に職員と一緒に行っています。本人の出来ることをいつまでも継続できるよう支援しています。
②「多機能ケアの喜楽」は登録29名です。通常はデイサービスなら通いのみ、訪問介護なら訪問のみと一つの事業所につき一つのサービスしか利用できません。ですがこの「小規模多機能」という形態では、通所介護・訪問介護・宿泊という別々のサービスを本人の状態や環境に合わせて組み合わせて利用することが出来ます。（例として1週間の内「通所1回、ヘルパー訪問3回、宿泊2回」「通所3回、ヘルパー訪問4回」等。）またデイサービス利用予定でしたが当日体調が優れず行けなくなってしまったときに急遽ヘルパーを依頼したり、家族が仕事で遅くなり帰れないときはお泊りしたり等、急なご要望にもある程度融通が利きます。利用料は介護度に応じて月単位で決まっていますので違うサービスを組み合わせても基本料金は同じです。
　今年も残りわずか、風邪などひかないようお元気でお過ごしください。

訪問介護の喜楽　新人紹介

　10月から訪問介護で勤務することになりました、山本です。初めての訪問介護で利用者様の名前、家までの道のり、掃除・買い物・調理等時間内に終えられるか、利用者様と上手くコミュニケーションがとれるか心配でしたが、先輩の皆さんが同行して丁寧にご指導してくださり無事に終えることが出来ました。ありがとうございます。これからも分からないことを先輩方に教わりつつ、利用者様と信頼し合える介護をしていきたいと思います。休日は御朱印、道の駅のスタンプ巡りをしています。どこか良いところがあったら教えてください。好きな言葉は「ありがとう」です。

市 民 活 動

【住民相互の助け合い】支え合い活動

**　全運転者への運転前後の体調チェック（飲酒・疾病・疲労の有無）に加え、12月1日より検知器を使用したアルコールチェックを行うことが義務化されます。支え合い活動の移送サービスは勿論のこと、家事援助等で運転をする場合もすべて該当します。個々人に検知器を配布し、日々のサービス記録票に計測値を記入していただくようになります。飲酒運転撲滅のため、運転者の皆様のご協力をお願いします。**

**　12/6（水）、約4年ぶりに運転適性検査を実施いたします。安心安全な介護サービス・移送サービスを提供するため、県警から派遣された運転シミュレーター機器搭載車による30分程度の検査です。会員皆様の日頃の運転スキルを試す場となっております。**

協力会員募集中! TEL 0276-74-8286
担当　坂田まで

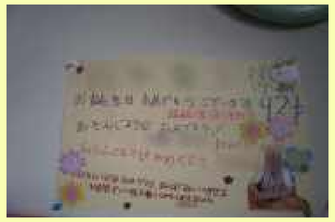
地域の居場所　よってこ松沼

１０月１９日（木）「篠笛っていいね」の演奏会が「よってこ松沼」を会場に行われました。久しぶりのイベントでしたが演奏者７名、観客１０名で楽しいひと時を過ごしました。
１２月１８日（月）には松沼町行政区との共催で「松沼町音楽会」を開催します。ピアノとウクレレとリコーダーのアンサンブルで、懐かしの歌謡曲を中心に披露されます。ご協賛金１００円でお飲み物付きのイベントです。
今後は「民謡の集い」も準備中です。
これからもいっしょに楽しみましょう。

グループホーム喜楽・喜楽Ⅱ

近所の方から渋柿を頂きました！皆で皮を剥いてカビが生えないように湯通しをしてから外へ吊るして干し柿にしました。３週間ぐらいしたら出来上がり、皆で美味しくいただきました。

以前植えた花を摘み、皆で好きなものを束ねてドライフラワーを作り、お部屋に飾りました。



リビングのお花に皆で交代して水やりをしています。おかげでいつも綺麗に咲いています。

11月はお誕生日の方が2人もいらっしゃいました。85歳と92歳の誕生日を盛大にお祝いしました。

デイサービスセンター喜楽

デイサービス喜楽では年に2回、ご家族の皆様にアンケートのご協力をお願いしています。アンケートの結果から、ご家族が介護する中で「同じことを何度も繰り返す」ことが一番大変と感じているようです。又、「転倒により寝たきりになってしまうのでは」「こんな状況（在宅介護）がいつまで続くのだろうか」という悩みや不安がある方が多くいらっしゃいました。

要望・苦情・満足度アンケートでは有難いことにほとんどのご家族より満足という回答を頂いています。中には「主人のわがままにも真摯に対応してくださりありがとうございます。スタッフさん達に支えられていることを今更ながら実感しています。感謝です。」「他に相談できる人もいない私にとってとても頼りになる信頼できる存在です。」と我々職員一同大変嬉しいお言葉を頂き喜んでいます。これからも努力していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

玉入れ‼
ねらって
ねらって!

ようじ配りも
続けています!

多機能ケアの喜楽

多機能ケアの喜楽では職員らが畑の芋掘りを行いました。秋だというのにとても暑い日で、利用者さんたちは麦わら帽子をかぶって道端に座りこんで応援していました。大きな芋が土の中から出てくると「わーすごい」と歓声が上がっていました。取れた芋は後日蒸かし芋やスイートポテトにしておやつに美味しくいただきました。

地域密着デイの喜楽

お年寄りに応援してもらいながら最強女性チームでさつま芋掘り開始！前日にお年寄りと一緒に芋づる取りをしたのでこんなにスッキリ。

こんなに大きなさつま芋が掘れました。何して食べようかねー！「焼き芋」「天ぷら」「いやいや、小さく切って煮て食べると旨いんだよ」